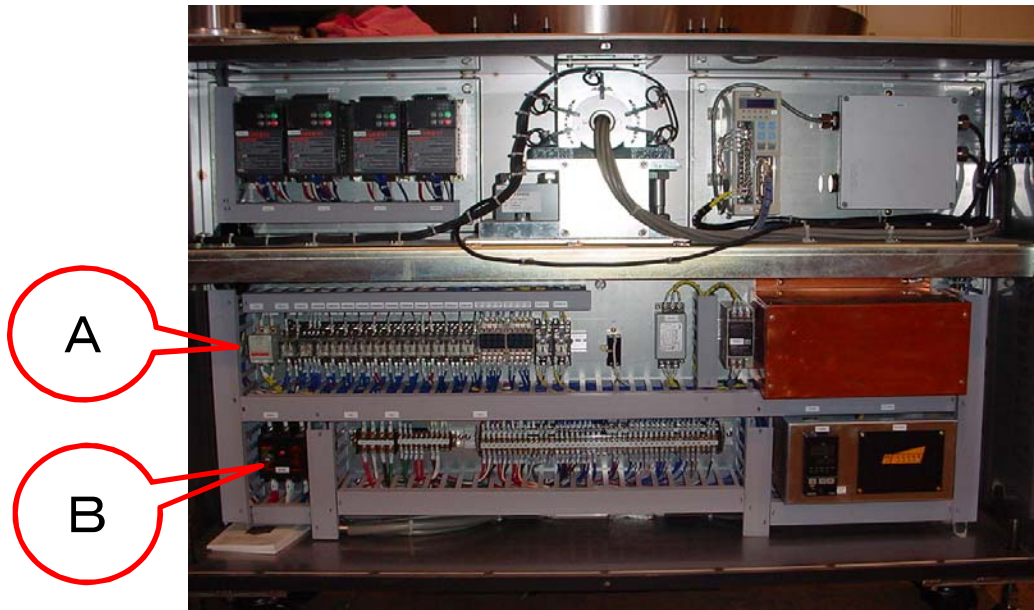


大型IH調理機 漏電時の調査方法

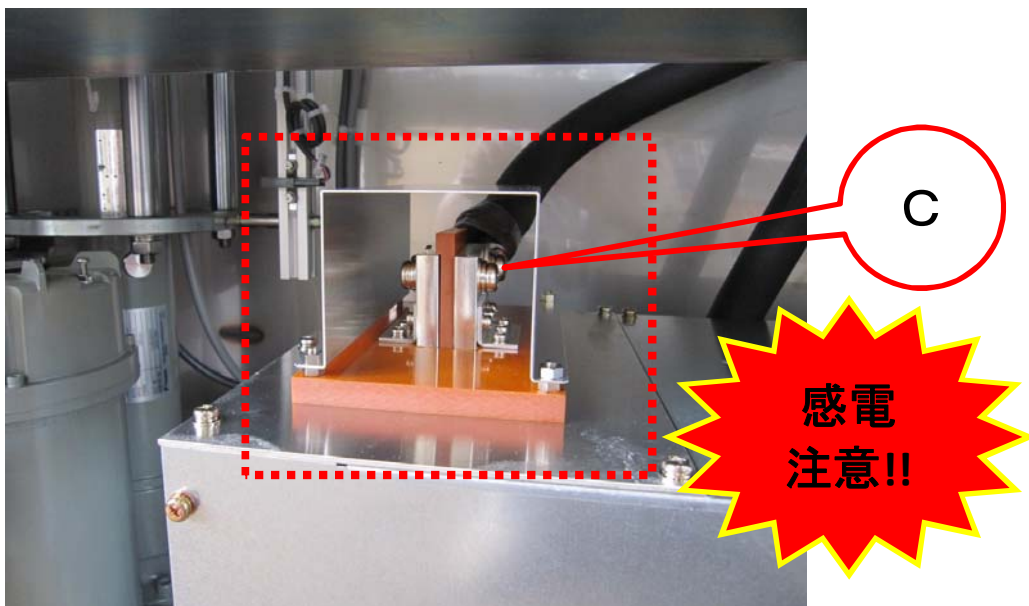
・まず、漏電の原因を調査して下さい。大きく分けて4つの箇所が疑わしいです。

※ 以下の点検作業を行う場合は必ず、本機の漏電遮断器をOFFにして行って下さい。感電して重大な災害につながる恐れがあり危険です。

- ① サーキットプロテクター(制御系電源/DC24V)・・・写真A部
・電源をOFFにしてメインブレーカーをONにして下さい。
⇒まだ、メインブレーカーは落ちる⇒②へ進んで下さい。
⇒メインブレーカーが落ちなくなった⇒DC電源の制御部品、ファン、センサー等の断線、短絡の疑い有
- ② 配線用遮断機(駆動系電源/AC200V)・・・写真B部
・電源をOFFにしてメインブレーカーをONにして下さい。
⇒まだ、メインブレーカーは落ちる⇒③へ進んで下さい。
⇒メインブレーカーが落ちなくなった⇒駆動系モーター等の断線、短絡の疑い有



- ③ IHインバータ部・・・写真C部
・写真CのIHケーブル2本を外して、メインブレーカーをONにして下さい。
⇒まだ、メインブレーカーが落ちる⇒IHインバータまたは、本機のメインブレーカーの疑い有
⇒メインブレーカーが落ちなくなった⇒共振コンデンサの故障または加熱コイル、ケーブルの短絡の疑い有。なべを外して加熱コイル周りを点検する必要があります。

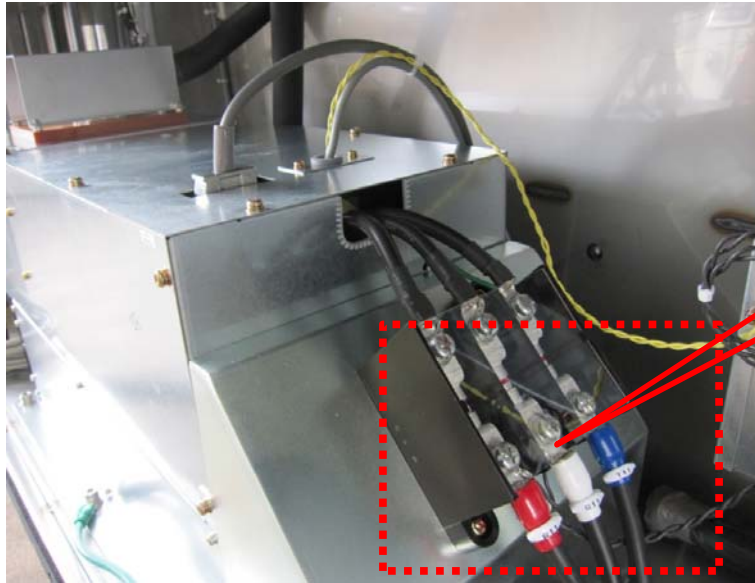


④ IHインバータ入力電源部・・・(AC200V)

・写真D部のR・S・T端子のケーブルは外してメインブレーカーをONにしてください。

⇒まだ、メインブレーカーが落ちる⇒本機のメインブレーカー内の漏電

⇒メインブレーカーが落ちなくなった⇒IHインバータ内の漏電



・①、②でブレーカーが落ちなくなった場合には、冷却ファンまたは配線部の漏電が疑われます。
下の写真の箇所を調べて下さい。

